

「寒地ITSワークショップ」（兼 第18回寒地道路連続セミナー）  
平成18年 9月 8日  
寒地土木研究所1F講堂  
京町本通り付近



## 小樽市内における 歩行者用案内標識の整備について

～各道路管理者間の連携によるデザイン統一と  
QRコードの採用による分かりやすい歩行者案内標識について～

小樽開発建設部・小樽土木現業所・小樽市

発表者：小樽市 建設部 まちづくり推進室 都市計画課 主査 阿部 宏之

## ご説明の流れ

### 1. 小樽市の歴史的景観について

### 2. 小樽市の観光動向と観光案内の現状について

### 3. 小樽案内標識整備協議会について

- (1) モデル地区への選定経緯と協議会の設立について
- (2) 小樽案内標識整備協議会における  
これまでの議論について

### 4. 今後の事業展開について

- (1) 中央通りにおける試行実施について
- (2) QRコードの活用について
- (3) 実施計画の策定に向けて

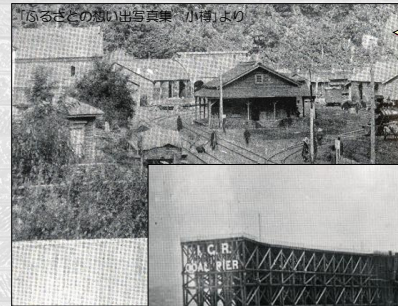
## 1. 小樽市の歴史的景観について

### 【にしん漁の風景】



「ふるさとの思い出写真集 小樽」より

◆江戸時代末期(1850年頃)から昭和初期(1930年頃)  
にしん漁で栄える



石炭積出し埠頭

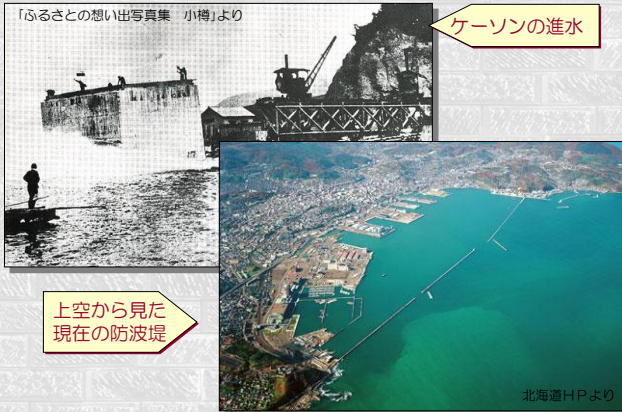
当時の手宮駅構内

「ふるさとの思い出写真集 小樽」より

◆明治13年(1880年) 幌内(三笠市)に発見された石炭搬出の  
ため、小樽～札幌間35.9kmの鉄道が日本で3番目に開通

「ふるさとの思い出写真集 小樽」より

ケーソンの進水



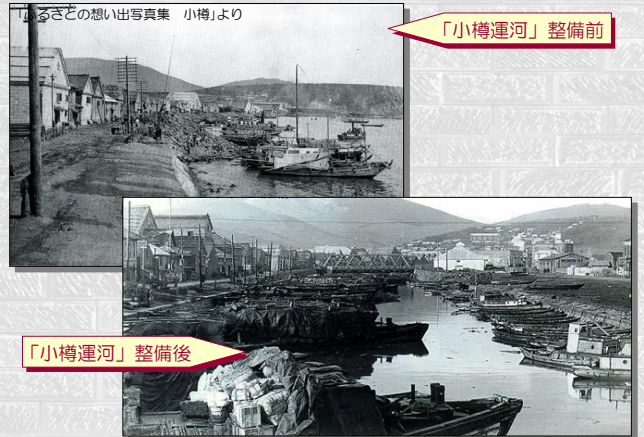
上空から見た  
現在の防波堤

北海道HPより

◆明治41年(1908年) 石炭、穀物、雑貨、海産物などの  
港湾貨物の増加に対応するための北防波堤の完成

「ふるさとの思い出写真集 小樽」より

「小樽運河」整備前



「小樽運河」整備後

◆大正12年(1923年) 小樽運河の完成

### 【日本銀行小樽支店】



「北海道の建築」より

◆大正末期～昭和初期(1920～1940年頃)  
銀行、商社等の進出(小樽経済の最盛期)



整備前



整備後

◆昭和61年(1986年) 「小樽臨港線」完成



## 運河論争から歴史的景観の保全へ

### 運 河 論 争

再認識

小樽の重要な個性である歴史的建造物や街並みの価値

保全型の条例

「小樽市歴史的建造物及び景観地区保全条例」(S58)

保全+景観形成誘導型

「小樽の歴史と自然を生かしたまちづくり景観条例の制定」(H4)

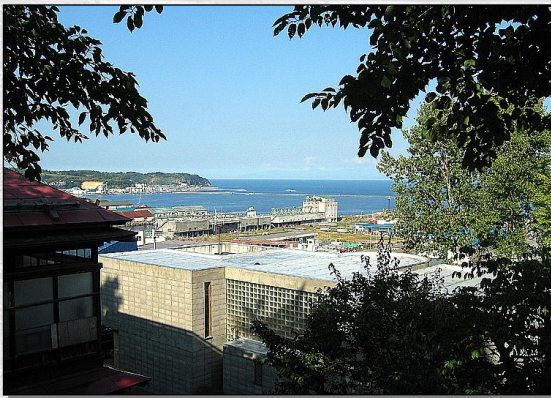
1. 歴史的建造物の保全
2. 特別景観形成地区の指定
3. 大規模建築物の届出
4. 緑の保全、緑化の推進
5. 市民参加による景観形成
6. 表彰

### 【旧小樽倉庫（小樽市指定歴史的建造物）】



- ◆昭和58年(1983年)に小樽市で買収し、改修
- ◆昭和60年(1985年)から「小樽市博物館」として活用
- ◆平成 2年(1990年)から「運河プラザ」として活用

### 【重要眺望地点（水天宮）】小樽を代表する眺望地点



◆現在、6カ所指定（平成8年）

### 【特別景観形成地区（メルヘン交差点）】

小樽らしい都市景観の形成上特に重要で、市民の共有財産としてシンボリックな地区



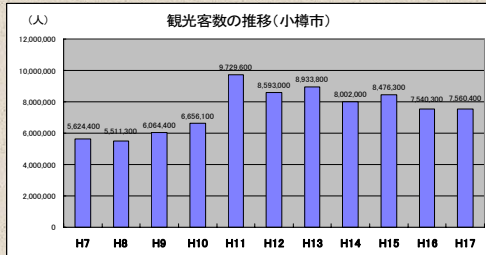
- ◆地区景観形成計画：地区の特徴を生かした全体的な方針を示す
- ◆地区景観形成基準：建築物等についての具体的な指針を示す

## 2. 小樽市の観光動向と観光案内の現状について

近年は年間 約800万人の観光客が訪れている

観光は小樽市経済の基幹的産業の一つとして重要な位置づけ  
観光による市外からの収入：年間1,319億円（市内産出額の15.4%）  
経済波及による総売上高：年間2,668億円（市内産出額の31.2%）

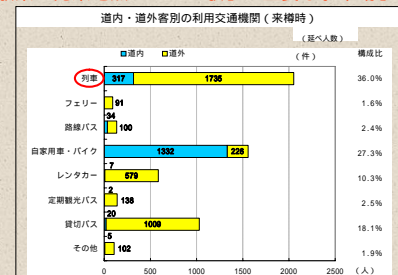
平成15年10月～16年9月の観光経済波及効果計測（観光基礎調査報告書：平成16年9月 小樽市経済部観光振興室）より



平成17年度小樽市観光入込客数（小樽市経済部観光振興室）を基に作成

### 観光動向～来樽時の利用交通機関～

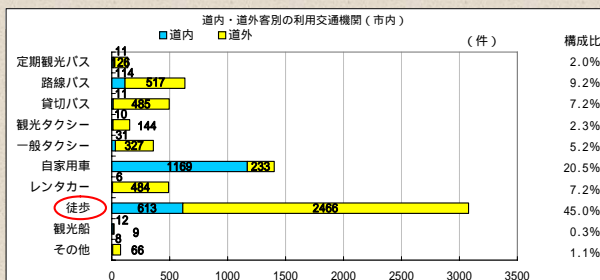
「列車」を利用して来樽する観光客が最も多く、  
次いで「自家用車・バイク」「貸切バス」「レンタカー」の利用が多い  
道内客は、「自家用車・バイク」の利用が78%を占める  
小樽観光散策の発着地点は「JR駅」「主要な駐車場」である



平成15年11月～16年8月の観光客動向調査より転載（観光基礎調査報告書：平成16年9月 小樽市経済部観光振興室）

### 観光動向～市内観光の利用交通機関～

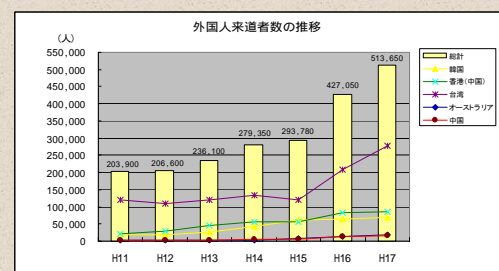
約半数の観光客が「徒歩」で小樽観光をしていることから、  
歩行者用案内標識の整備など、歩行者に対するサービスの充実が重要



平成15年11月～16年8月の観光客動向調査より転載（観光基礎調査報告書：平成16年9月 小樽市経済部観光振興室）

### 観光動向～北海道の外国人観光客～

平成17年度の外国人来道者は約51万人  
外国人来道者は6年間で約2.5倍  
特に「台湾」「香港」「韓国」からの来道者が急増



国別のグラフについては、平成17年度までの上位5カ国を対象  
平成17年度 北海道観光入込客数調査（北海道経済部観光のくにつくり推進室）を基に作成

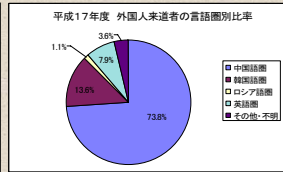
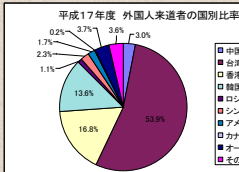


## 観光動向～北海道の外国人観光客～

平成16年度の外国人来道者は「台湾」が54%を占めている  
「香港」17%、「韓国」14%、「オーストラリア」3%

言語圏で比較すると「中国語圏」が74%を占めている  
「韓国語圏」14%、「英語圏」8%、「ロシア語圏」1%

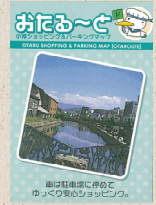
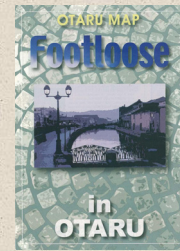
「中国語圏」～中国、香港（中国）、台湾  
「韓国語圏」～韓国  
「ロシア語圏」～ロシア  
「英語圏」～シンガポール、アメリカ、カナダ、オーストラリア  
「その他・不明」



平成17年度 北海道観光入込客数調査（北海道経済部観光のくにつくり推進室）を基に作成

## 観光案内の現状～パンフレット～

ゆっくりじっくり小樽  
観光マップや施設の紹介  
（日本語版）



おたろーと  
駐車場やショッピング  
情報の紹介

4カ国語版 OTARU MAP

観光マップや施設の紹介  
（英語、中国語、韓国語、ロシア）

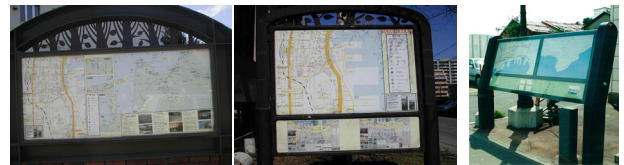
## 観光案内の現状～ホームページ～

小樽市のホームページで観光情報をPDF形式で提供

- ・おたる駐車場マップ
- ・小樽観光コース「来ぶらり百選」
- ・歴史的建造物ガイドマップ
- ・小樽観光マップ「OTARU MAP」  
（4カ国語：英語、中国語、韓国語、ロシア語）



## 歩行者案内標識の現状～大きさ・デザインなど～



大きさとデザインがバラバラな既設の総合案内標識



デザインに統一性がない既設の誘導標識

## 3. 小樽案内標識整備協議会について

（1）モデル地区への選定経緯と協議会の設立について

### 《事業のポイント》

「道路管理者が連携した案内標識の整備事業」

- ① 国・北海道・市町村による連携
- ② 外国人を含めた多様な観光客への対応  
多言語表記、ユニバーサルデザインなど
- ③ 歩行者用案内標識の面的な整備

訪問先の地理に不案内な観光客が

安心して散策のできる環境を整備する。

## モデル地区の選定条件及び選定経緯

### 《モデル地区の選定条件》

- ① 観光客が多く、観光スポットがある程度集中している地区
- ② 観光時の主な交通手段が車ではなく、徒歩による地域



### 《モデル地区の選定》

「北海道ブロック道路標識適正化委員会」※1 幹事会で  
小樽市が推薦され、平成17年11月に同委員会で承認。

※1 「北海道ブロック道路標識適正化委員会」～北海道開発局・北海道・札幌市・ＪＨで構成  
参考）同様に車両系の標識整備については、「知床地区」が選定されている

## 協議会の設置～メンバー構成～

### 平成17年12月「小樽案内標識整備協議会」の設置

#### 《構成メンバー》

- ・学識経験者………1名（小樽商科大学大学院教授）
- ・市民の代表………2名（小樽観光協会、観光カリスマ）  
イベントとＩＴを活用した地域リーダーカリスマ
- ・関係行政機関………6名
  - ① 座長（小樽市建設部まちづくり推進室長）
  - ② 観光部局（後志支庁経済部、小樽市経済部）
  - ③ 道路管理者（小樽開発建設部、小樽土木現業所、小樽市）

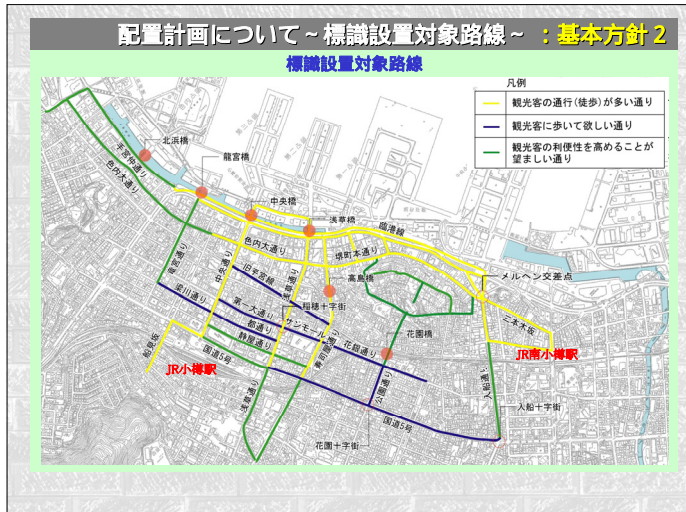
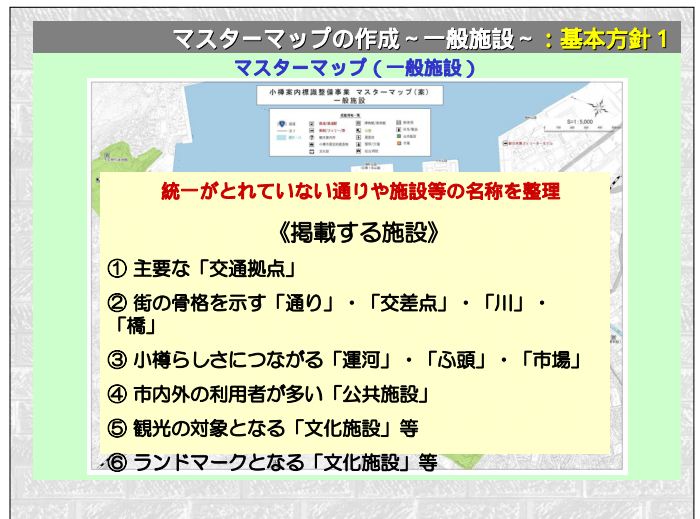
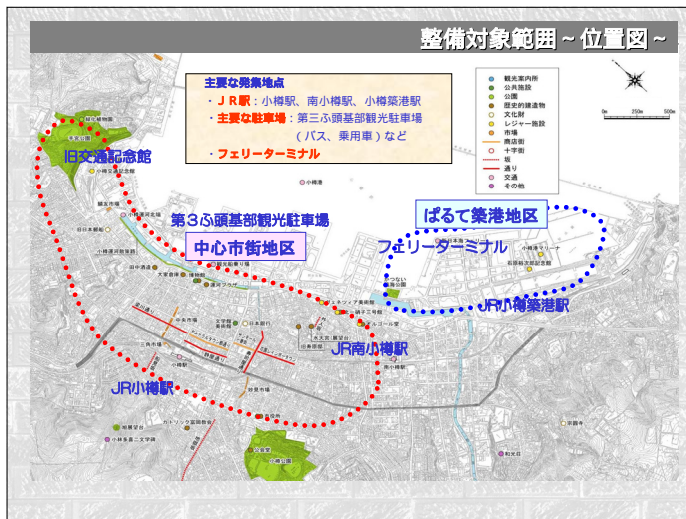
## 3. 小樽案内標識整備協議会について

（2）小樽案内標識整備協議会におけるこれまでの議論について

### 《歩行者用案内標識整備の基本的な考え方》 ～5つの基本方針～

- 1 各種観光情報において、掲載施設、名称表記などの整合を図る
- 2 観光客を積極的に誘導する主要なルートを設定する
- 3 総合案内・地区案内・誘導の3種類の標識を整備する
- 4 標識としての識別性を高めるため、デザインを統一する
- 5 すべての人に分かりやすい案内標識を目指す  
（エバー・グリーンデザイン、外国語表記、ビジュアルやインターネットの活用）





### 表示内容について～表示の方針～：基本方針3・5

《総合案内標識》 中心市街地全体の地図により、観光情報を提供する

- ・中心市街地の地図を掲載する 地図はマスターマップを基本とする
- ・設置場所の通り名称や地区名称を記載し、歴史的建造物などの詳細情報も加える

《地区案内標識》 現在地周辺の地図、地区の理解を深める歴史などを紹介する

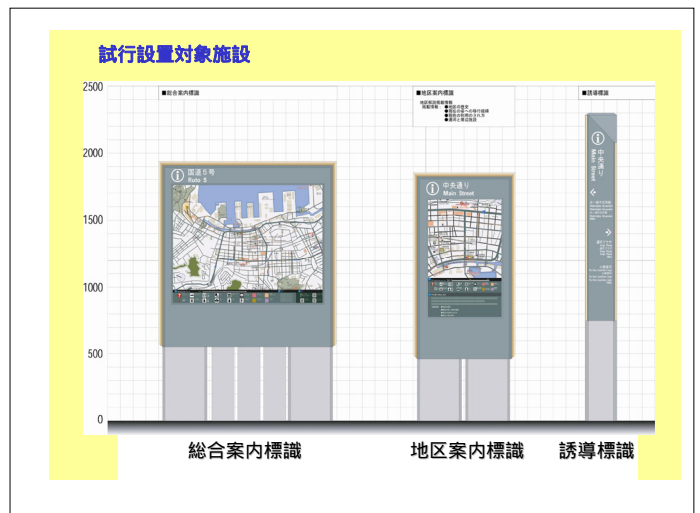
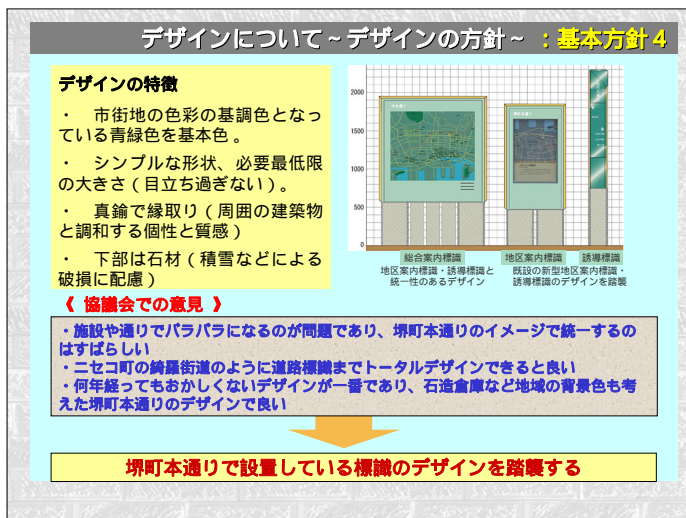
- ・周辺地区の地図を掲載する 地図はマスターマップを基本とする
- ・地区や施設の魅力を説明する構成にする

《誘導標識》 歩行者を目的の施設へ誘導する

- ・誘導対象は、公共施設やランドマーク的なものなどから選択する
- ・通り名称及び市場の名称を積極的に掲載することで個性化を図る

	設置数	多言語表記 南小樽駅 All English Route Map English Version	ピクトグラム表示 🏠	QRコード表示
総合案内標識	新設4基 (既設9基)	日本語・英語		
地区案内標識	新設11基 (既設3基)	日本語・英語		
誘導標識	主要交差点に 配置を検討中	日本語・英語 中国語（繁体字・簡体字） 韓国語・ロシア語		

設置数は協議会での検討結果等により、今後変更となる場合があります。





## 設置対象路線：中央通り

### 実施内容及び設置箇所

小樽駅及び運河周辺に

「総合案内標識」を設置：2基

・国道5号との交差点 ・運河プラザ

運河の歴史などを説明する

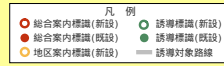
「地区案内標識」を設置：1基

・臨港線との交差点

主要なルートに誘導する

「誘導標識」を設置：6基

・国道5号との交差点 ・都通りととの交差点  
・栗川通りとの交差点 ・手宮線跡地との交差点  
・色内大通りとの交差点 ・臨港線との交差点



## ●模型等によるシュミレーション



国道5号との交差点部（総合案内標識）



国道5号との交差点部（誘導標識）



色内大通りとの交差点部（誘導標識）



運河プラザ（総合案内標識）



臨港線との交差点部（地区案内・誘導標識）

## 《試行評価方法》

### 調査概要

・『観察調査』と『ヒアリング調査』を試行設置前の7月の週末と試行設置後の9月の週末に実施する。

・『観察調査』では、試行設置した箇所を巡回して案内標識の利用状況を観察し、概略の利用頻度、問題点を検証する。

・『ヒアリング調査』では総合案内標識の試行設置を予定しているJR小樽駅周辺と運河プラザ周辺の2箇所、日本語、英語、中国語、韓国語の調査員により実施する。

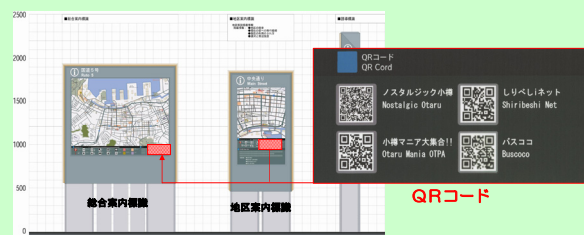
### 調査項目

- ・観光、来訪の主な目的地
- ・主な目的地に行くために案内標識を見たか、役に立ったか
- ・不足している情報、さらに追加して欲しい情報はあったか
- ・使用してみた印象はどうか

## 4. 今後の事業展開について

### （2）QRコードの活用について

- ・案内標識では対応できない最新の観光情報を、どのように提供するか。近年、普及がめざましい**携帯電話と情報通信技術（IT）**の活用。
- ・観光・イベントなどの詳細な情報を提供するため、案内標識に2次元コード読み取り対応の**携帯電話**で容易に観光関連サイトにつながる**QRコード**を掲載することとした。
- ・掲載対象は**総合案内標識、地区案内標識**とする。



・掲載するQRコードは以下の観光関連サイトを予定

### 【小樽の観光関連などの携帯向けサイト】

「しりべしネット」（後志観光連盟）

「ノスタルジック小樽」（小樽市）

「小樽マニア大集合!!」（小樽観光誘致促進協議会）

「バスコ」（小樽開発建設部・北海道中央バス）



「しりべしネット」



「ノスタルジック小樽」

## 4. 今後の事業展開

### （3）平成19年度事業計画の策定に向けて

協議会等	日程	テーマ・検討内容
試験設置	18年 9月	中央通りで試験設置
調査	18年10月	利用状況調査 観光客へのヒアリング調査
第4回協議会	18年11月頃	試行結果の確認 実施計画（案）の見直し
第5回協議会	19年 2月頃	実施計画（案）のとりまとめ

平成19年度に標識整備完了予定

公共サインでの整備事例（新潟市）  
サインにQRコードを取り入れた事例。このコードを読み取ると「みちなび新潟Walker」のサイトへつながる。  
このサイン内で現在地と目的地を選択すると目的地までのルートが表示され、併せて目的地までの経路、交通手段が表示される





【第15回小樽市都市景観賞受賞作品（日藤メモリアルガーデン）】

ご静聴、ありがとうございました。



◆「(株)日刊北海経済新聞社(旧安田銀行小樽支店)」と  
合わせて2作品が受賞